芦安中学校だより

第 7 号
校長　竹内 太郎
2026. 10. 30

☆ふれあい豊かな森 整備（10月5日）

９月はいったい何だったのでしょうか？晴れの日が何日あったか数えるほどでしたが、１０月に入ったとたんに見事な秋晴れ続き。豊かな森整備も予定通り実施できました。

森の役目として「生活を守ってくれていること」「生活を豊かにしてくれていること」を教えていただき、森に感謝しながら伐採、丸太を切り出し、枝打ち等で、材料をいただいてまいりました。

ユネスコスクールの一員として、地球を元気にする活動にいそしんだ午後でした。



道具をもって、いざ 森へ



枝の重なりを考えて伐採しました



丸太を学校まで運びます

☆3年生 第1回輪かんじきづくり（10月16日）

芦安の伝統工芸品「輪かんじき」の製作に、毎年３年生が取り組んでいます。今日は１回目ということで、材料の成型を、芦安ファンクラブの講師の方々に教わりながら実施しました。

天候にも恵まれ、爽やかに成型に取り組んでいたところ、途中から２年生も飛び入りで体験させてもらいました。おかげで予定よりもだいぶ早く成型が終わりました。

来月行う２回目は、いよいよ組み立てに入る予定です。



ドラム缶で枝を煮込みます



きれいに曲げられました



協力して成型します

☆セント・スイートポテト・デイ≪聖サツマイモ祭≫（10月19日）

９月に太陽が見えたのは片手ほどでしたので、土の中がどうなっているか少し心配でした。多少土は固くなっていましたが、子どもたちに聞くと「昨年度より大量のイモが収穫できた」とのこと。大地の恵みに感謝です。

サツマイモはこの後少し下処理をして、１１月の焼きいも集会でおいしくいただきます。子どもたちの喜ぶ様子を想像すると、今から楽しみでしょうがありません。



雨で土が固くなっています



みんなで力を合わせて収穫



１００本ほどのとれ高でした

☆3年 進路説明会（10月21日）

時のたつのは早いもので、気が付けばもう受験シーズン突入です。初めて経験することはどんなことでも先の見通しが立たず、不安な気持ちになると思います。でも、保護者の皆さんや兄姉、先生たちも全員一度経験しているんです。何でも相談してください。

例えば自転車の補助輪なしを練習し始めた時のことを思い出してください。周りの大人はみんな「誰もが自転車に乗れる」と思い込んでいるから、「あとちょっとで乗れるよ」とか「惜しいところまでできているぞ」などの声をかけてくれたり、練習に付き合ってくれたりしますよね。高校受験もきっとそんな感じです。「プロ野球選手になる」とか「プロのバイオリニストになる」といったレベルの話ではありません。



膨大な資料の説明です



みんな真剣にきいてくれました



分散会も開かれました

☆中巨摩英語暗唱大会（10月22日）

日頃の英語活動の成果を発表する「英語暗唱大会」が行われ、芦安中からも２，３年生１名ずつ参加しました。

私も記録係として開会式から参観しましたが、驚いたことに司会者も話し手もすべて英語で、学生時代から英語が苦手だった私はたじろぎました。子どもたちはというと、主催者やジャッジの英語の呼びかけにきちんと英語でリアクションしていて、グローバル化が進んでいるなと感心しました。

本校の２名の選手は、緊張しながらも身振り手振りを交えたり、声のトーンやスピーチのペースを工夫し、最高のパフォーマンスを繰り広げ、２年生は努力賞を、３年生はファーストプラくぁwせｄｒｆｔｇｙふじこｌｐ…チャンピオンを受賞しました。２人ともお疲れさまでした。この経験は今後の人生にきっと役立ちますよ。



身振り手振りを交えてのスピーチ



選手全員で記念撮影



お見事！中巨摩チャンピオン

☆白峰祭取組特別日課（10月23日～）

〇〇の秋。皆さんなら何を入れますか？食欲、読書、スポーツ、芸術、学問…。何をするにも心地よい気候の秋はイベントも盛りだくさん。ということで、来月行われる白峰祭の取組が始まりました。















